

2024年12月23日

立憲民主党

代表 野田佳彦 様

部落解放同盟中央本部

執行委員長 西島 藤彦



『全国部落調査』復刻版出版事件裁判勝利報告集会 開催のご案内とご挨拶のお願いについて

日頃より部落問題解決をはじめとした、あらゆる差別の解消と人権確立社会の実現にむけてご尽力いただいておりますことに深く敬意を表します。

さて、2016年2月に神奈川県出版社を名乗る「示現舎」が、「復刻版 全国部落調査」と称して全国の被差別部落所在地一覧の出版を企画し、また、インターネット上に掲載するなどしたいわゆる『全国部落調査』復刻版出版事件について、12月4日に最高裁が原告・被告双方の上告を棄却し、被差別部落所在地一覧に記載された36都府県のうち31都府県分の出版差し止めとインターネットからの削除、損害賠償を認めた2023年6月28日に出された東京高裁判決が確定しました。

東京高裁判決は、部落差別の深刻さを正面から受け止め、差別の対象が現在の住所や本籍などの情報のみならず、過去の住所や本籍、親族の情報など「系譜性」による被害もあることを認定し、出版の差し止め範囲を東京地裁判決の25都府県から拡大し、損害賠償金も60万円増額し総額約550万円が認められました。

また、東京高裁判決は、一覧全体の差し止めや一部原告の権利侵害などが認められなかったことは大きな問題ですが、憲法13条（幸福追求権）や14条（法の下での平等）を根拠に「人は誰しも、不当な差別を受けることなく、人間としての尊厳を保ちつつ平穏な生活を送ることができる人格的な利益を有する」として、人格権の内容として「差別されない権利」とその侵害が認められたことは、画期的な成果です。

私たちはこの最高裁決定をふまえ、東京高裁判決の意義や、差別を禁止する法制定の必要性などを訴える報告集会を開催することとなりました。

つきましては、下記の日程にて、『全国部落調査』復刻版出版事件裁判 勝利報告集会を開催いたしますので、ご出席のうえ激励のご挨拶をいただきたいと存じます。大変お忙しい中とは存じますが、よろしくお願い申し上げます。

— 記 —

『全国部落調査』復刻版出版事件裁判 勝利報告集会について

1. 日時 2025年1月22日（水）13:00～15:00（予定）
2. 会場 日本教育会館8階第2会議室（805・806）
3. 主催 部落解放同盟中央本部

※この間の経緯については、12月10日（火）におこなった記者会見において発出したプレスリリースと原告団・弁護団声明を同封しておりますので、ご参照ください。

<問い合わせ・返信先>部落解放同盟中央本部 川口

TEL. 03-6280-3360

FAX. 03-3551-6500

MAIL. kawaguchi@bll.gr.jp

以上

『全国部落調査』復刻版出版事件裁判 勝利報告集会

(2025年1月22日開催)

ご出欠 返信用紙

ご出席

ご欠席

| | |
|--------|--|
| (ふりがな) | |
| お名前 | |
| 所属政党 | |
| 役職名 | |
| 備考 | |

部落解放同盟中央本部 (FAX. 03-3551-6500)